

謹賀新年



大磯町長
中崎久雄

明けましておめでとうござい
ます。皆さんにおかれましては、
それぞれの決意を胸に新年をお
迎えのことと、心からお慶び申
し上げます。

昨年は、卓話集会をはじめ、
様々な機会を通して町政へのご
意見をいただきました。中でも
農業においては、後継者不足や
荒廃農地などの改善に向けた農
政懇談会を開催し、農家の方と
将来に向けた基礎づくりを進め
ることができました。

また、昨年を思い返しますと、
熊本や鳥取での地震など、災害
の多い年でありました。幸いな
ことに本町が大きな被害を受け
ることはありませんでしたが、
安全で安心した暮らしがいか
に重要であるかを改めて認識いた
しました。

今、町は大きく変化していま
す。少子高齢化の進行、人口減
少社会へ突入するなか、地域で
のつながりが求められており、
そのつながりを築くためには皆
さんの一層のご協力が大切です。
そして、皆さんとともに大きな
課題と向き合い、乗り越え、誰
もが生き生きとした活力にあふ

れるまちづくりを目指してい
ります。

交流人口の増加と定住人口の
安定を目標に掲げ、これまで繼
続して取り組んでまいりました
「子育て」「教育」「健康」「観光」の
重点施策を進展させるべく、今
年は、新たな認定こども園や東
部地区子育て支援センターの整
備、また、子どもたちの心と身
体を育てる教育大綱に基づく取
組みを推進します。健康施策に
おいては、新たに歯と口腔の健
康づくりに取り組み、また、リ
ニューアルした郷土資料館、4
月に開園する旧吉田茂邸等を活
用した歴史・文化を享受できる
大磯ならではの観光施策を進め
ます。さらには、新たに「防
災・減災」と「農業」を重点施策
として取り組んでまいります。

皆さんから託された町政への
思いをしっかりと受け止め、先
頭に立ち、「決断」し、「実現」
してまいります。

結びに、皆さんのご健勝とご
多幸を心よりお祈り申し上げ、
年頭のごあいさつとさせていただきます。



大磯町議会議員
吉川重雄

新年明けましておめでとうござ
います。申年から酉年にバト
ンが引き継がれ、皆さまにおか
れましては穏やかな新年を迎え
られたことと存じます。

私にとって昨年は帯状疱疹に
苦しめられた1年でした。皆さ
まにご迷惑をおかけしましたこ
とお詫び申し上げますとともに、
皆さまのご協力により議長の職
責を全うすることが出来ました
こと、感謝申し上げます。

さて、昨年、大磯町議会は、
議員提案による条例制定や監視
機関としての役割発揮など、こ
れまでの議会運営が評価され、
県内で初めて全国町村議会議長
会から特別表彰を受けました。
また、東京の中野サンプラザで
行われた研修会では、参加され
た1,700人の前で「わが町
の議会活性化への取り組み」と
題し、講演を行いました。

この講演後、全国の町村議会
から大磯町議会への視察申込み
が殺到したほか、鳥取県大山町
議会や全国の地方議会議員を対
象としたセミナーの講師として
招かれるなど、嬉しくも多忙な
日々が続いています。

また、昨年11月に実施した12
回目の議会報告会には、聴覚障
がい者の方にご参加いただきました。
お二人の手話通訳者のご
協力により、無事報告会を終了
することができました。議員全
員が貴重な経験が出来たと同時
に、多くの皆さまに参加いただ
けるよう努めなければならぬ
ことを改めて認識いたしました。

全国各地の様々な議会活動が
報道されている昨今、大磯町議
会においても、よりよい政策提
言ができ、信頼される議会を目
指し、引き続き議会改革を進め
なければなりません。

大磯町でも少子高齢化への対
応が最優先課題となっており、
これまで以上に行政に対する議
会の役割は重要となっております。
行政政策に対し、厳しく適格な
判断が議員には求められています
のです。議員一人ひとりが様々
な調査・研究を行い、資質向上
に努めています。今後もより
一層自己研鑽をすることを願っ
てやみません。

結びに、皆さまのご健勝とご
多幸をご祈念申し上げます。新年の
ご挨拶とさせていただきます。